

2. 11. 17
1, 200

又著勤者之三浦草白様状より自電より途平より金見より
由ふことし其途平は是より目下約半一海急出初より
ノハ之下線と道平カカレキ如況在り此ノ書之ノことより今由
不慮道場ニ運動街ルカキキ下キキト信入ん、之等海急
生ルキ既之二十余日ノ途道也、今由高キ何者解決ノ暇先
見ツサル方々書出中、之を要化シ念多アリ、一面ノ何如
大岡士ノ急後見ヤニ結了難キ

大岡士ノ急後見

芝浦橋見ノ坊中海ノ初之指合、
芝浦製作所鶴見ノ坊中海ノ後、之ノ事日多收ル時ヨリ鶴
見朝日公金書ニ於テ控書之方金ノ南産之所画ノ天書
外労働員金ノ如ク動之指合ノ事ト今ノ配付

材圓